

月刊IT総合情報誌

M&D Report

Multimedia and Distribution

2012.4 Vol.190

スマートフォンでも存在感増す中国勢

— Mobile World Congress 2012現地報告 —



「Mobile World Congress 2012」会場(スペイン・バルセロナ)

- NOTTVが4月1日サービス開始
- ソフトバンク、7月から900MHz帯利用

<http://www.m2ri.jp>

スマートデバイスを管理するMDMサービス

— MDMサービスの動向①

急速に普及が進んでいるスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイス。企業でも業務に活用する動きが見られるようになった。その一方で、紛失・盗難による情報漏えいやアプリのインストール利用などPCとは違った管理負担の増大が懸念される。これらの対応策として、いまMDM (Mobile Device Management) への注目が集まっている。MDMとは遠隔操作によるスマートデバイスの操作ロックやデータの削除、アプリのインストール制限などができるサービスだ。MDM事業に参入している企業のサービスや特徴について今号と次号にわたってレポートする。

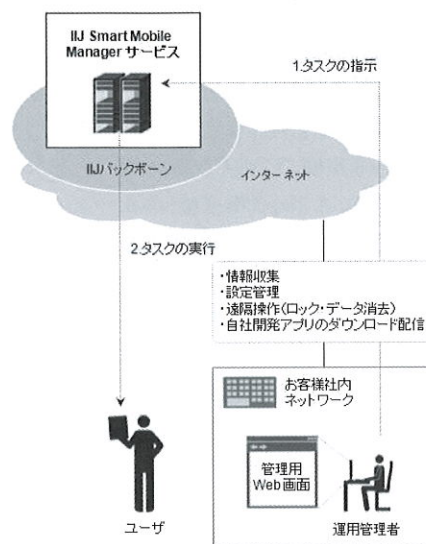
■ iPadの購入含め ワンストップでサポート

インターネットイニシアティブ

インターネット接続などネットワーク関連事業を手掛けるインターネットイニシアティブ(以下、IIJ)は、同社が提供するMDMサービス「IIJ Smart Mobile Managerサービス(SMM)」を2010年11月に試験的に開始し、2011年5月に本格的にリリースした。クラウド型のサービスとして提供しているため、サーバーなどの構築費用はかからず申込みから利用開始まで約5営業日と短時間で導入できる。申込み時には年中無休24時間365日の電話による障害対応窓口も標準で付いている。

SMMのサーバー配下で管理される端末のOSはiOS(iPad/iPad2: 4.2以上、iPhone・iPod touch: 4.0以上)とAndroid2.2以上の2種類で、これらを搭載したスマートフォンやタブレット端末であれば利用可能だ。機能はOSの種類によって異なるが、リモートロック/リモートワイプなど遠隔操作での端末のロックやデータの消去など、基本機能は両OSでも行うことができる。iOSであればアプリのインストールや、カメラの使用などデバイス機能の制限も可能だ。他にも管理機能としてOSのバージョン情報、デバイス名、インストール済みのアプリ情報などを運用管理者の管理画面から確認することもできる。利用料金は、初期費用が50,000円、iOSは1台あたり月額300円、Androidは月額150円だ。

運用管理者から端末に遠隔指示する場合の通信方式は「プッシュ型通信」という機能を用いている。これは、iOSなら「APNs(Apple Push Notification Service)」というApple社が提供している仕組みを利用したもので、APNsサーバーと端末間で常にセッションを張り、端末の情報などを同サーバーに蓄積するというもの。SMMはこの仕組みを利用することで、運用管理者が端末側に指示を出すと、SMMのサーバーがAPNsサーバーを介して端末側に自動



IIJ Smart Mobile Manager (SSM) サービス



IIJ Smart Mobile Manager (SSM) サービス管理画面

的に設定情報を送ることができる。Androidも「C2DM (Cloud to Device Messaging)」というGoogle社が提供し

特集

P.3

データ

P.7

トレンド

P.9

対談

P.21

経営

P.23